

日本の危機に備えよ

北朝鮮の核、国民保護、法整備と憲法

北朝鮮が核・ミサイル開発を進め、地域の緊張が高まっています。北朝鮮による核攻撃の脅威を排したい米国は、軍事行動も選択肢としており、米朝対立が朝鮮半島有事を招く可能性も否定できません。この危機に私たちはどう向き合うべきでしょうか。シンポジウムでは、北朝鮮の核・ミサイル開発の現状、米朝衝突の可能性、日米韓の役割分担、在韓邦人退避、日本が攻撃された場合の国民保護、法整備や憲法改正のあり方などの課題について、与野党や実務のエキスパート達が多角的に議論します。

日時

2018年 **3月6日** **火** 13:30~16:30
(開場 13:00)

会場

日本プレスセンタービル 10階ホール
(東京メトロ霞ヶ関駅 C3 出口より徒歩 2分)

定員

200名 ※事前に当シンポジウム Web サイトより
ご登録をお願いいたします。

パネリスト

- 田中 明彦 政策研究大学院大学 学長 (前 東京大学副学長)
 中谷 元 自由民主党 安全保障調査会長 (元 防衛大臣)
 福山 哲郎 立憲民主党 幹事長
 玉木 雄一郎 希望の党 代表
 久保 信保 自治体衛星通信機構 理事長 (元 消防庁長官)
 廣中 雅之 伊藤忠商事 顧問 (元 空将・航空教育集団司令官)

モデレーター

勝股 秀通 日本大学危機管理学部 教授

総合司会

川戸 恵子 TBS シニアコメンテーター

プログラム

- 13:00 受付開始
 13:30 パネルディスカッション第1部
 14:50 休憩 ※質問票を回収します
 15:10 パネルディスカッション第2部
 16:30 閉会

入場
無料※Web サイトにて
事前登録をお願いします参加登録はこちらから ▶ <http://anpo.netj.or.jp/>

安全保障シンポジウム

